

『CFA 受験ガイドブック [レベル 2]』 正誤表

(2007 年 1 月 19 日現在)

- P21 真中の表中 Standard Standard Error
- P25 Q4 の答のうち t 値の計算式の分母 0.43 0.34
- P27 下から 4 行目 説明変数 y_t 被説明変数 y_t
- P27 下から 3 行目 説明変数 y_{t-n} 被説明変数 y_{t-n}
- P41 一番下の行(注) $Y=AK^{-1}L$ $Y=AK^{-1}L^{-1}$
- P44 下のグラフの X 軸説明 1 人当たり生産額 1 人当たり資本ストック
- P46 4 行目 米銀が顧客からスイスフランを 米銀が顧客から米ドルを
- P49 説明の 9 行目 実質為替レートと名目為替レートに物価水準比率で
実質為替レートは名目為替レートを物価水準比率で
- P49 説明の 11 行目の式 最後の右の項の分子と分母が逆

$$S_{R_{X/Y}} = \frac{S_{N_{X/Y}}}{P_X / P_Y} = S_{N_{X/Y}} \left(\frac{P_X}{P_Y} \right)$$

$$S_{R_{X/Y}} = \frac{S_{N_{X/Y}}}{P_X / P_Y} = S_{N_{X/Y}} \left(\frac{P_Y}{P_X} \right)$$
- P49 下から 6 行目
為替先物を決定すると考える 将来の為替を決定すると考える
- P49 下から 2 行目 S_1 : 先物レート S_1 : 1 年後のスポットレート
- P51 下から 4 行目全部削除
これに基づき以下「カバーなし金利平価」「金利平価」が導かれる。
- P54 Q2 の問題日本語 相対的金利平価の考え方 相対的購買力平価の考え方
- P58 Q1 の解答中 2 行目 $\frac{\Delta Y}{Y} = (1-\theta) \frac{\Delta N}{N} + \theta \frac{\Delta K}{K} + \frac{\Delta A}{A}$
 $\frac{\Delta Y}{Y} = (1-\theta) \frac{\Delta L}{L} + \frac{\Delta K}{K} + \frac{\Delta A}{A}$
- P58 Q1 の解答中 5 行目 0.00247 0.00253
- P58 Q1 の解答中 6 行目 0.00247 0.00253
- P84 下の表中 一番下の行、右はし 60,000 51,000
- P134 下から 3 行目 式の分母 $\frac{\$20 - \$10}{\$29}$ $\frac{\$20 - \$10}{\$20}$
- P138 Fixed Asset Turnover の分母 Fixed Assets Avg. Fixed Assets
- P138 ビジネスリスクの中の coefficient coefficient (2 箇所あり)
- P138 Debt to Asset(Debt to Total Capital)のあとに下記の (注) を追加する
(注) Total Capital の定義は「長期借入 + 自己資本」であることが多いが、「流動負債 + 長期借入 + 自己資本」であったり「総負債 + 自己資本」である場合もあり区々である点注意。
- P143 下から 2 行目 新株の株主資本コスト

$$r_{newCS} = \frac{Div}{P_{CS}(1-f)} + g_{Div} \quad r_{newCS} = \frac{Div_1}{P_{CS}(1-f)} + g_{Div}$$

• P149 真ん中の表中 右下 (Machine B の NPV) \$222,326 \$222,280

• P150 Q2 の答 機械 B が \$222,326 \$222,280

• P151 上の表中 右下 (Machine B の NPV) NPV
\$222,326 \$222,280

• P200 一番下の行 () 内 分子の肩に i を入れる

$$= \sum_{i=1}^n \frac{D_0(1+g)}{(1+r)^i}, n \rightarrow \infty \quad = \sum_{i=1}^n \frac{D_0(1+g)^i}{(1+r)^i}, n \rightarrow \infty$$

• P241 一番下のグラフ X 軸の説明

$$\frac{EVA}{InvestedCapital} \quad \frac{EnterpriseValue}{InvestedCapital}$$

• P252 下から 2 行目全て 3.75 $\frac{U}{Y}$ を削除

• P268 コンベクシティの重要ポイント中、実効コンベクシティ簡易計算法の式の分母右下の 2 を消す

$$\frac{P_- + P_+ - 2P_0}{2P_0(\Delta r)^2} \quad \frac{P_- + P_+ - 2P_0}{2P_0(\Delta r)^2}$$

• P270 下から 2 行目

$$\frac{P_- + P_+ - 2P_0}{2P_0(\Delta r)^2} \quad \frac{P_- + P_+ - 2P_0}{2P_0(\Delta r)^2}$$

• P270 下から 2 行目と下から 3 行目の間に下記の式を挿入

$$= \frac{104.702 + 95.586 - 2 \times 100}{2 \times 100 \times (0.005)^2}$$

• P275 Q4 の答の式中

$$0.001 \times 95 \times 5.26 \quad 0.0001 \times 95 \times 5.26$$

• P281 3 行目に下記の文を追加

「コール・オプションは 1 年経過後より行使可能。」

• P283 12 行目

$$\cong r_T \quad \cong r_n$$

• P288 下転換社債にかかる諸比率の例題の (前提)

3 行目と 4 行目の間に挿入

転換社債クーポン 6 %

• P290 9 行目

$$= \frac{\$95 \text{ per } \$100}{\$82.7 \text{ per } \$100} - 1 \quad = \frac{\$95 \text{ per } \$100}{\$82.71 \text{ per } \$100} - 1$$

• P304 資産担保証券の価格評価の重要ポイント中に「 2 」を追加

$$rBEY = [(1+im)^6 - 1] \quad rBEY = 2[(1+im)^6 - 1]$$

• P336 重要ポイント中 為替先物のうち連続複利の式

$$f_0(T) = (S_0 e^{-r_a T}) e^{r_f T} \quad f_0(T) = (S_0 e^{-r_f T}) e^{r_a T}$$

- P337 解答のうち 5 行目 $FV(CF)$ で始まる計算のうち
 $FV(CF) = \$3.59(1.0625)^{0.75} + \quad FV(CF) = \$3.50(1.0625)^{0.75} +$
- P360 真ん中
 $\$39.75(1.065)^{0.25} = \$40.38 \quad \$39.75(1.065)^{0.25} = \40.38
- P379 解答の PV(固定受け)の式中 2 つ目の項の分子
 $1+0.5308 \quad 1+0.05308$
- P386 図表 7-41 固定金利の説明のうち
 $0.061 \quad 0.060$
- P401 解答の枠の中の 3 行目 3 列
 $- 12 - 8 = 20 \quad - 12 - 8 = - 20$
- P406 下から 3 行目
資本市場線 (CML) の意味するところは 資本資産価格モデ
ル (CAPM) の意味するところは
- P415 下から 7 行目と下から 6 行目 2 箇所
CAPM 証券市場線 SLM

以上